

その判断、被災者に
説明できますか？

経営視点で災害に備える 従業員と事業を守る、企業防災虎の巻

備蓄の準備、防災訓練の
実施、さらにBCPの整備、
色々取り組んできては
いるものの、それらは全て、
個別具体の防災と言えます。
経営の視点で防災を考え、
災害に備える企業判断とは
何かを捉えるための
防災講習です。

災害に備える夏
2週連続集中講座

前編

後編

6月23^火日 30^火日

14:00 - 15:30

参加費無料 / オンライン開催

経営者、経営幹部が
知っておくべき
防災講習

経営視点で災害に備える

従業員と事業を守る、企業防災虎の巻

首都直下地震や南海トラフ地震など巨大地震の発生が懸念されるなか、いまの防災で本当に良いのか、という漠然とした不安を抱いておられる経営者は多くいらっしゃるでしょう。一方で、東日本大震災でも耐え抜いたんだからと楽観視するのも危険です。15年前の当時、千葉県の一部は津波による被害を被ったものの、東日本大震災の本質は東北地方の災害です。想定される首都直下地震のインパクトとは異質のものであります。

備蓄や防災訓練に終始するのではなく、経営の視点で防災について考え、従業員と事業を守ることでできる企業のあり方について考える講習です。

▶ 講習の概要

対象	企業経営者、経営幹部、防災担当管理職
実施日	前編：令和8年6月23日（火） 後編：令和8年6月30日（火） どちらか片方だけの参加も可能です。
実施時刻	14:00 - 15:30
開講方法	オンライン（ZOOM）
受講費用	無料 （オンライン接続のための通信費用は受講者負担です）
用意する物	ネット接続できるPC、タブレット、スマートフォン ワークシート※、筆記用具 ※事前にメールでダウンロードアドレスをご案内します、プリントアウトしてご参加ください

▶ 本講習の特徴

経営視点の防災に特化

企業における防災と言うと、備蓄の整備や防災訓練の実施などが思い浮かびますが、本講習ではそうした現場的な話題は扱いません。経営の観点から取り組むべき防災を考えます。

参加型オンライン講習

講習中には、投票や発言などの機会が設定され、オンライン講習でありながら、参加型のセッションが展開されます。

クイズとフィードバック

講習の後にはクイズが用意されており、解説付きの評価付きの報告書を後日メールにてお届けします。（希望者のみ）

▶ 講習の構成

前編

本当に災害による被害は防げないのか

災害では、時として災害そのものより、連鎖的に発生する火災などの二次災害によって被害が拡大します。しかし二次災害は必然なのでしょうか。

災害を引き起こす事象と、実際の被害の相関関係を解きほぐし、私たちにできる備えの可能性について考えます。

後編

災害でケガをすると血が出る、そして、訴状も出てくる。

災害によって従業員やお客様に被害が及んだ場合、企業や経営者は、被害者やその遺族からの訴訟の矢面に立たされます。

どれだけBCPを充実させていても、訴訟による損害賠償や信用低下によって経営がおびやかされることがあります。そうしたリーガルリスクへの対処の観点から防災のあり方を考えてみましょう。

▶ 講師紹介

佐伯 潤 安全教育株式会社 主席指導教官

多くの企業の防災顧問をつとめ、東京・渋谷駅周辺の複数の大型複合施設や、スタジアム、工場などの危機管理計画の設計、訓練指導や社員教育を手がける。組織構造から考える防災のありかたに気づきを与える講習に定評がある。

▶ お申込み、お問合せ

お申込み 下記QRコードからお申込みください

申込締切 令和8年6月16日（火）24時

定員 200名 ※定員超過の場合は、YouTubeによるストリーム配信をご案内する場合があります。

お問合せ

千葉県防災研修センター

TEL：0436-63-5438 / FAX：0436-63-5439

E-mail：ml_notice_bousaikensyu@sbs.ana-g.com

HP：https://bousaikensyu.pref.chiba.lg.jp/



↑PDFファイル上では
クリックでアクセス可能です。